
社会保険庁幹部が年金積立金で購入したもの

- 社会保険庁本庁所有の公用車 2 台他 (180 億円)
- 社会保険庁公用車 247 台 (4億円)
- 職員の外国出張費 (1 億 6500 万円)
- ゴルフクラブの購入費 (20 本、6万 6000 円)
- ゴルフボールの購入費 (700 個、1万 8000 円)
- 校内のテニスコートや体育館の維持費 (計 409 万円)
- 東京の社会保険業務センター内のテニスコート建設費 (422 万円)
- バスケットコート建設費 (354 万円)
- 全国の社会保険事務所に導入した印刷機 (921 台、1 億 5030 万円)
- 社会保険庁の年金広報費 (10 億 600 万円)
- 年金資金運用基金への支出、交付金 (計 3 兆 3600 億円)
- グリーンピア建設費と借入金利息・管理費 (3800 億円)
- 年金福祉施設や老人ホームの建設・維持費 (1 兆 5700 億円)
- 年金資金運用基金へグリーンピア建設や住宅融資資金の名目で出資金 (1 兆 800 億円)
- 職員の健康診断費 (3 億 7000 万円)
- 社会保険庁が新築した職員宿舎 (10 億円) ※家賃は東京都心 3DK で2万円
- 年金関連施設の職員向け宿舎 (28 億 800 万円)
- 職員の事務費充当 (5300 億円)
- 社会保険庁職員宿舎の整備・維持費 (42 億円)
- 社会保険庁長官の交際費 (250 万円)
- 社保長官香典費 (1 年につき 28~50 万円)
- 社保庁職員の交通事故賠償金 (15 件、1800 万円)

- 保養基地運営法人への支出 (2兆円、総額5兆6000億円の使途判明)
- 年金資金運用基金総裁の退職金 (4000万円)
- 厚生年金事業振興団総裁の退職金 (4000万円)
- 厚生年金病院の建設費 (全国68カ所、112億1900万円)
- 大規模年金保養基地 (グリーンピア) の職員向け宿舎建設費 (15億2600万円)
- 年金資金運用基金 (旧・年金福祉事業団) の職員向け宿舎建設費 (2億6500万円)
- 社会保険庁職員用のマッサージ器 (6070万円、計395台)
- 社会保険庁職員でライオンキング観戦 (500万円)
- 千葉の社会保険大学校内にあるゴルフ練習場の建設・維持費 (1200万円)



族議員と役人による「年金寄生」の歴史

1940	・労働者年金保険法制定 (42年)
~	流失 戦後のインフレで年金積立金がパーに
50	改悪 男性の受給開始を55→60歳に引き上げ (54年)
60	・国民年金制度の施行 (61年) 国民皆年金体制が始まる
	流失 年金福祉施設の建設費に総額1兆5697億円を投入
70	・田中角栄内閣が年金の給付額を2倍に (73年)
80	流失 グリーンピアや住宅融資事業などが始まる。02年度までに4兆円を投入
	改悪 中曽根内閣下で年金3割カット (85年)
90	・学生の国民年金強制加入 (91年)
	改悪 社保庁の交際費などへの「流用」が可能に。02年までに1兆808億円を乱脈支出
00	改悪 小泉内閣が保険料アップと年金カット (04年)
	流失 社保庁が保険料で職員用のゴルフ練習場などを建設していたことが発覚
	・「消えた年金」問題発覚 (07年)。未支給となっていた年金は判明しているだけで2兆7000億円超
	・社会保険庁解体、日本年金機構が発足 (10年)
	改悪 安倍内閣によるマクロ経済スライド発動 (18年) で、年金受給総額は12年に比べ3兆円目減り